

ひまわり 教科別の指導「国語」「お話を楽しもう」

本単元で育成したい言語能力

様子や気持ちを色々な言葉で表現する力

設定した言語活動

色々な言葉で表現する劇を行う活動

視点2 仲間とかかわりながら学ぶための工夫

手立て 劇活動の設定

- ・劇活動に取り組むことで、仲間との関わりが必然的に生まれ、相手のことを考えながら学習できるようにした。
- ・相手の動きやセリフに応じて、相手を意識しながら表現する様子が見られた。

次はぼくが
セリフを言う番だ。



視点3 学びを深めるための工夫

手立て 特性に応じたワークシート

- ・児童の実態に応じて記述式と選択式の解答欄を設け、登場人物の様子や気持ちを確認できるワークシートを活用した。
- ・登場人物の気持ちを記述や選択する際に、言葉の表を活用した。



言葉の種類ごとに色分け

手立て ICTを使った振り返り活動

- ・劇活動の振り返りで動画を用いて自分たちの様子を実際に見ることで、具体的に自分の学びや変容を自覚できるようにした。



タブレットPCで撮影した映像での振り返り活動

指導講評

- ICTの活用は客観的に活動を振り返ることができ、児童にとって有効であった。
- 丁寧に場面の読み取りを行い、既習事項を生かした劇活動が行われていた。
- 場面ごとに、重点ポイントとなる表現を決めて児童に考えさせることで学習が深まるのではないかと。

成果と課題

- 劇活動を通して、仲間と関わりながら言葉の定着を図ることができた。
- 特性に応じたワークシートを使って場面の様子や気持ちを丁寧に読み取ったことがよかった。
- ICTを使った振り返り活動を行い、客観視することで成果や課題を見つけることができた。
- 言葉の表出が得意でない児童を授業にどう巻き込むか、手立ての改善が必要であった。
- 劇活動後に本文に戻ること、理解が深まるのではないかと。